

勤医協歯科支援報告 2011.03.23(支援2日目) NO.3

札幌を出発して4日目の朝。レトルトごはんでおにぎりをにぎり、朝ごはんを食べて一日がスタートした。

松島海岸診療所の朝会に出席。今日の予定を全員で集まって確認中。現地の方々はとても明るく元気、診療所の掃除を手伝う。ふと気づくと相談会などで使用する指導用の大きな歯ぶらしで掃除していた。



私達は今日が最終日だ。古川、長町を回る予定だったが燃料補給が難しく古川行きを断念、仙台・長町へ向かうことになった。出発の時、診療所の皆さんや支援に来ているみんなに見送られつい泣けてしまった(>.<)

仙台に到着。長町病院付属クリニック歯科は現在隣接するビルの一室で臨時診療所を開いている。元あった歯科の場所は旧病院を建て増した部分だ。余震や次の大きな地震で崩落する危険性があるために移らざるを得なかつた、もちろんユニットもないで患者用の椅子はもちろん背もたれが動かず、処置は往診用ポータブルタービンやエンジンで行う。不便だ。



クリニックの隣に銭湯があった。12時から夜6時までの営業で12時から整理券を配布していた。今日は12時19分で配布終了。もちろん入れない。買い物も2時間待ち、ガソリンも全然買えないと聞いた。松島とはまた違った深刻な状況だった。

衛生士たちで松島には激励の寄せ書きを贈ったが長町クリニックの皆さんにも贈りたいと心から思った。みんながこの状況に耐えている。



歯科施設は使えないが、現地の歯科衛生士主任が長町病院の入り口に立ち、歯科に訪れた患者の相談にあたっていた。頭が下がる。

いよいよ帰路に就く。

燃料補給は高速のガソリンスタンドは午後6時には閉まるため、それまでに補給をという不安があったが仙台に緊急車両用のスタンドがあり、安堵する。

「不安視する意見もありましたが、徳島 立川 利根 宮城 松島と他の法人の方々との意見交換は専務と西田先生にとってはとても大切だったと思います。私も現地のみなさんと避難所をまわったり、たくさんの人たちに（札幌を代表して）感謝の言葉をいただいたことは変えがたい経験でした。出発にあたって様々な心遣いありがとうございました。写真やレポートを整理してできるだけ早く用意します」（原文ママ）

午後8時に新潟到着。

すでに小樽行きのフェリーがなく翌朝の便で出発。25日朝4時30分小樽港に到着。

夜は**理事会**だ

（市村衛生士とのやり取りをもとに作成 文責 萩原）